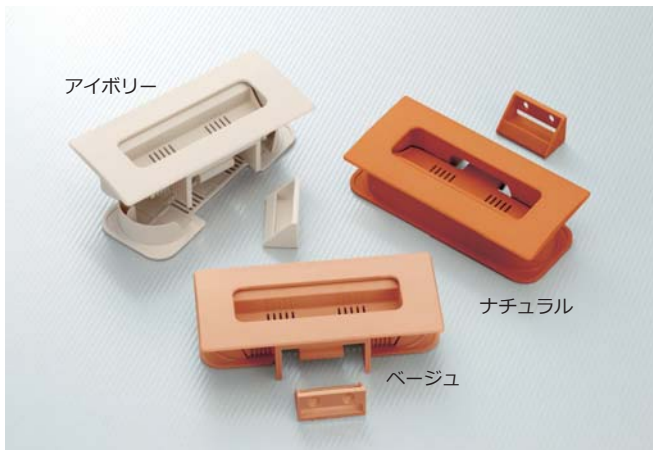


GK ラッチ付引手 PAT.P

NEW!!

GK Series



特長

- ・引違い扉用のラッチ付引手です。
- ・扉が閉まっている際、ラッチにより扉をロックします。
- ・引手・手掛部が操作レバーになっている為、扉を開ける動作でラッチの解除ができます。
- ・扉を閉めればラッチは自動的にかかります。

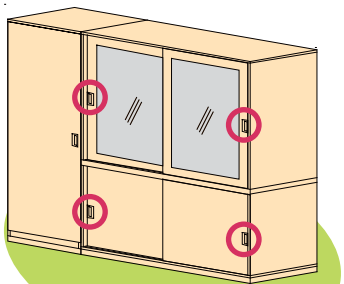
品名

GK ラッチ付引手

仕上: アイボリー、ベージュ、ナチュラル
材質: ABS、樹脂他 (※抗菌剤入)

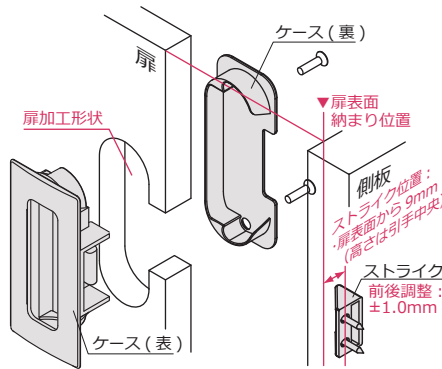
使用可能な扉厚:

■GKシリーズ
Type-A(GK 上下レール仕様の場合)・・・20~22mm※ご注意の④参照
Type-B(GK ガイド・V レール仕様の場合)・・・18.5~25mm



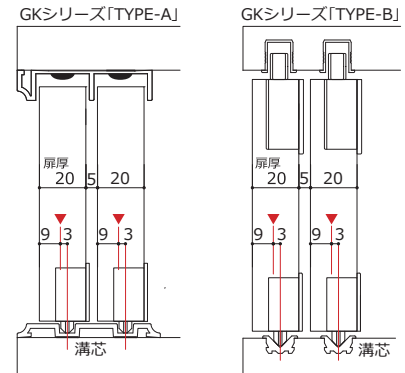
■引違い扉用ラッチ付引手
ストライクが面付なので
扉の交換の際に導入可能です。

■組立図



■ご注意
ラッチがスムーズに作動しない場合はストライクの位置を前後に調整してください。

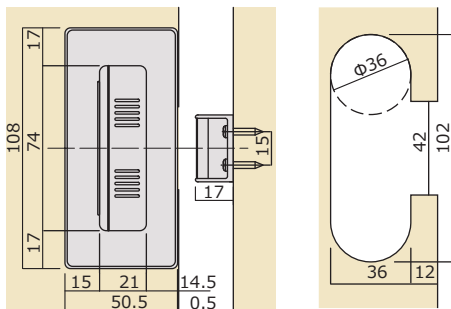
■ストライク位置



※高さ位置は引手中央へ取付けて下さい。

取付例 (Type-A・B 共):
扉厚 20mm→溝芯から3mm(扉表面から9mm)
※扉表面からの寸法は9mm(固定)です。溝芯からの寸法は扉厚により変動します。

■製品図・扉加工図



・戸先に引手が付きます(戸先より飛出さないでください)。
・ストライクH(高さ)位置は引手中央へ取付けてください。

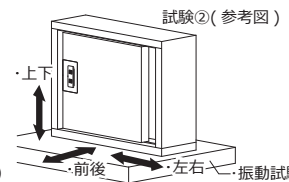
■実施試験(参考)

試験① 開閉耐久試験: 4万回連続開閉にて破損・異常なし

試験② 振動試験: 破損・異常なし

方向: 上下・左右・前後
時間: それぞれ 30 秒間 (5Hz・50mmP-P の時間)
回数: 上下・左右・前後を 2 セット
速度: 5Hz・50mmP-P (振幅 50mm を 5 往復 / 秒)

・扉サイズ: W400×H500(t20)
・使用したパーツ
Type-A(GK 上下レール、NSD30VS ローラー)
Type-B(GK ガイド・V 型レール、NSD40M ガイド・30VS ローラー)
の 2 通りで実施



・試験結果は製品選定の際の目安にして下さい。
・振動試験は地震波を再現したものではありません。

■ご注意

①ストライク位置
ストライク位置は扉が傾斜した状態ではなく、取付例を参考に、垂直な位置を確認して寸法出し、取付けを行ってください。

②扉と枠の取り合い
戸先の隙間を無くして下さい。ラッチがスムーズに作動せず、不具合の原因となります。

■「GK 上レール」使用時のご注意

③外れ止め
クendon式扉は扉吊込みの為のクリアランス(高さ)があるので、上下の動作で外れることが考えられます。扉の外れ止めを設置してください。
※「GK シリーズ Type-A」仕様寸法の場合はセットキャップで対応可能(H3.5mm)。その他の場合はクリアランスの寸法による。

④扉厚
GK 上レール使用時は扉厚を 20 ~ 22mm で設定してください。扉の前後のクリアランス(パタつき)が多い場合、ラッチ不具合の原因になります。

・動作確認は当社製品の周辺パーツ(レール、ローラー等)にて行っております。その他の仕様での納まりは必ずご確認の上、ご使用になってください。